

ワクチン、打つ？打たない？

あなたの疑問・不安に答えます！

誤情報やウワサに惑わされずに、正しい情報を

よくあるギモン・質問・誤情報

監修：宮古地区医師会

発行：宮古島市新型コロナウイルスワクチン接種対策室

Q. 新しいワクチン、将来への影響が心配

A. mRNAは体内で分解され、体内に残りません。ワクチンの長期的な影響や副反応は想定されていません。それ以上に感染に伴う影響の方が心配です。

Q. 熱や倦怠感が出るのがいやだ

A. 副反応は2～3日でおさまりますが、コロナに感染した場合、命に関わることもあれば1週間以上も熱が出たり味覚嗅覚障害が数ヶ月も続く、隔離が必要になるなど、影響は大きいでしょう。

Q. アナフィラキシーがこわい

A. 頻度は10万人に1人とごく稀で、人口5万人の宮古島市では発生しない想定です。アナフィラキシーの90%以上は接種30分以内に起こるため、健康観察の時間を設けています。たとえ起こったとしても、会場には医師や看護師が待機しており、適切な対応で回復します。

Q. ワクチン接種したすべてのネズミが2年で死んだと聞いた

A. ネズミの寿命は2年です

Q. 妊活中・妊娠中・授乳中で、接種を迷っている

A. 問題なく接種できます。妊婦後期の感染は重症化しやすく、帝王切開で出産することになり、負担も大きくなります。産後は母乳に移行した抗体で赤ちゃんを守ることができます。ワクチンで不妊になることもありません。接種を迷っていることを産婦人科医やかかりつけ医に伝えてみましょう。

Q. コロナに感染した事がある人は、ワクチンは接種しなくていい？

A. コロナに感染したことがある方も、通常通り2回接種しましょう。高い抗体価が得られます。

Q. ワクチン接種してもコロナに感染するなら受ける意味ないのでは？

A. ワクチンには、感染しても重症化を予防する効果があります。症状が軽く済むことで、身体への負担や、社会的負担（入院が長引かない、長期に休職しないなど）を軽減できます。

Q. 子どもや若い人は無症状が多いと聞くので接種しなくてもいいのでは？

A. 高齢者に比べて重症化率が低いだけで、若くても重症化する方もいます。最近ではデルタ株のまん延で症状の重い若者も増えています。

Q. 副反応が出たら解熱剤はいつ飲めばいい？

A. 頭痛、痛み、発熱など症状が辛い時は、我慢せずに痛み止めや解熱剤を飲みましょう。あらかじめ飲むことはやめましょう

Q. ワクチン接種すると磁石がくっつく、5Gに接続されると聞いた

A. そのような事実はありません。

打つリスクは小さい

- ☑ 漠然とした不安・緊張
- ☑ 2～3日体調不良(副反応)
- ☑ 接種のための日程調整

打たないリスクを考えたらずく早く打つとくべきだよな...



打たないリスクに目を向けて!!

- ☑ 感染時の重症化リスク（呼吸苦・入院）
- ☑ 感染時、10日以上長期休業・休職
- ☑ 感染後の長期的な後遺症（3人に1人が味覚嗅覚障害や頭痛など1ヵ月以上持続あり）
- ☑ 後期妊婦が感染した場合は重症化しやすく、出産は帝王切開。産後は赤ちゃんや家族と離れた生活になる（10日以上）